

2010.3.15「鳩山邦夫氏は議員辞職すべきだ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今、鳩山邦夫氏が自民党を離党するニュースが入ってきました。しかしこれは離党して政治家を辞めるのではなく、新たな政局をつくるための布石です。だからこそ、私は鳩山邦夫氏の問題が明らかになったとき、谷垣総裁に直ちに除名処分、むしろ議員辞職を我々から勧告すべきだと申し上げていたのです。

私は何度も鳩山総理の問題を国会で追及してきました。総理の知らないという答弁のため実態がわからないのですが、鳩山邦夫氏にもお姉さんにもお母さんから同じような金額が、12 億を超える金額が、渡されていた事が新聞報道で明らかになっています。

これは鳩山家の一家全員が生前贈与を脱法的に行ってきた証明ではないでしょうか。この事にしても鳩山総理に責任があるのは勿論ですが、鳩山邦夫氏にしても国会議員としての資格が無いと思うのは私だけではないと思います。

ですから、ここを我々が鳩山総理を責めるならその返す刀で、鳩山邦夫氏の問題も明らかにしなければならぬ。このことを私自身が何度も総裁、幹事長に言い続けてきましたが、残念ながらそれができないままに鳩山邦夫氏の方から離党し、新党をつくるという話になったようです。

これは国民を侮辱しています。私は鳩山邦夫氏に直接的な恨みはありませんが、鳩山総理と同じように巨額の脱税をしてきた。そのことについて実際まともな説明が鳩山邦夫氏からもされていないのです。そして如何なる理由であろうとも12億円を超える生前贈与が、贈与税を払わずに行われてきた事実は覆らないということです。だからこそ、いったんは鳩山邦夫も自ら衆議院議員を辞任すべきなのです。

離党するのではなく、議員を辞めるべきだと思うのです。そうすれば鳩山邦夫氏の評価も上がるかもしれません。そして同時に鳩山総理も当然のことながら辞職をしなければならなくなってしまうのです。いずれにしても、この鳩山邦夫氏の離党、そして離党をして今度は新しい新党運動をする。これは、全くもってまやかしかです。そんな事をする資格は鳩山邦夫氏にはない。直ちに国会議員を辞めるべきだ。そして谷垣総裁、大島幹事長も遅きに失してはいますが彼を除名処分をすべきである。このことを申し上げたいと思います。

また今後もこの問題について追及を続けてまいります。ありがとうございました。